

履 修 モ デ ル

1. 基盤看護学分野

1-1. 精神看護教員、卒後継続教育担当者あるいは実習指導者として看護教育に携わりたい学生が履修する場合

①修士論文テーマ：精神科外来通院者への精神療法的アプローチ開発に関する研究

②履修科目

区 分		＜基盤看護学分野＞ 授 業 科 目	1 年次～2 年次		計
			前期	後期	
共通科目	必修	看護理論	2		4
		看護研究方法論 I	2		
	選択	看護教育論		2	6
		薬物治療学	2		
		コンサルテーション論	2		
専門科目	選択必修	精神看護関連技法演習		2	4
		精神看護援助方法論		2	
	選択	看護技術学特論	2		8
		在宅看護学特論	2		
		公衆衛生看護学特論	2		
		成人継続看護学特論		2	
	必修	基盤看護学特別研究	8		8
計			30		

看護者として、精神科外来通院者への関わりの焦点となる内容には、服薬管理状況・日常生活のリズム・対人関係の調整等があげられる。これら焦点化された内容に対する効果的な関わりには、的確な治療的コミュニケーション、アセスメント技術、他職種とのコンサルテーション力等が必要である。また、効果的な関わりのありようを、精神療法的アプローチとして位置づけ、包括・体系化することが可能であり、包括・体系化することで、新たな精神看護アプローチ法の開発につながる。

精神看護アプローチ法の開発を達成し、この成果を現場に還元していくために、「看護教育論」「コンサルテーション論」を共通科目の中から選択する。また、研究テーマを、幅広い視野から、かつ統合的・論理的に考究するために、「精神看護援助方法論」「精神看護関連技法演習」を学ぶ。さらに、慢性疾患患者の継続支援を探究し、地域支援及び地域連携を視野に入れた援助ができるように、「看護技術学特論」「成人継続看護学特論」「公衆衛生看護学特論」「在宅看護学特論」「薬物治療学」を選択履修する。

本学生は将来、実践者及び管理者、院内教育担当者、看護教員を志向している。

1－2． 現在保健師として職を持っている学生が履修する場合

①修士論文テーマ：市町村の行政施策としての健康教育活動に関わる保健師の役割に関する研究

②履修科目

区分		＜基盤看護学分野＞ 授業科目	1 年次～2 年次		計
			前期	後期	
共通科目	必修	看護理論	2		4
		看護研究方法論Ⅰ	2		
	選択	看護政策論	2		6
		コンサルテーション論	2		
		家族看護学特論		2	
専門科目	選択必修	公衆衛生看護学特論	2		4
		公衆衛生看護学演習		2	
	選択	母性看護学特論		2	8
		母性看護学演習		2	
		小児家族看護学特論	2		
		小児家族看護学演習		2	
	必修	基盤看護学特別研究	8		8
計			30		

市町村における保健師活動は、地域の特性に基づく的確な保健活動を行うことが求められる。保健師特有の活動をエビデンスに基づきながら専門的立場で実践するため、ここでは市町村で実施されている健康教育に焦点をあて、その活動に関わる保健師に求められる役割とは何かについて追究する。実践活動で対象としている母子保健領域に焦点をあてる。

そのためには、公衆衛生看護の対象者や家族を含めて幅広く理解し、先進的な支援方法及び他職種との効果的調整機能を追求するために、「看護政策論」「家族看護学特論」「コンサルテーション論」を学ぶ。加えて、公衆衛生看護活動の実践において、地域の健康問題・行政課題を明らかにするための科学的な方法を理解し、的確に活用する能力が必要となることから、「公衆衛生看護学特論」「公衆衛生看護学演習」を学ぶ。また、母子の健康に関する学習を支援する援助方法を深く探求するために、「母性看護学特論」「母性看護学演習」「小児家族看護学特論」「小児家族看護学演習」を選択履修する。

本学生は、県あるいは市町村における保健活動においてリーダー的役割を担う保健師、看護教員を志向している。

2. 生涯健康看護学分野

2-1. 母性看護学教員あるいは、助産師の資格を有し女性の健康支援に携わりたい 学生が履修する場合

①修士論文テーマ：働く女性のリプロダクティブヘルスに関する研究

②履修科目

区分		＜生涯健康看護学分野＞ 授 業 科 目	1 年次～2年次		計
			前期	後期	
共通科目	必修	看護理論	2		4
		看護研究方法論Ⅰ	2		
	選択	看護政策論	2		6
		看護倫理	2		
		家族看護学特論		2	
専門科目	選択必修	母性看護学特論		2	4
		母性看護学演習		2	
	選択	小児家族看護学特論	2		8
		小児家族看護学演習		2	
		公衆衛生看護学特論	2		
		公衆衛生看護学演習		2	
	必修	生涯健康看護学特別研究	8		8
計			30		

助産師の活動する場は、分娩を中心とした周産期の援助から、生涯を含めた領域へと拡大している。さらに生殖医療の進歩から、不妊看護、遺伝看護の領域での専門的知識をもったケアが期待されている。こうした活動の展開においては、看護の基本的概念である生命の尊重・倫理、家族社会への深い理解が必須である。

「母性看護学特論」「母性看護学演習」では、すでに助産師であることを踏まえ、さらに女性の健康支援をエビデンスに基づいて実践するための知識、そして女性のヘルスアセスメントに必要な技術の習得をはかる。また「小児家族看護学特論」「小児家族看護学演習」において女性・母性だけでなく小児・家族への支援のあり方を考え、「公衆衛生看護学特論」「公衆衛生看護学演習」では、市町村等を単位として展開する地域看護活動に焦点をあて、個人・家族（夫婦）・集団の問題解決のための教育的介入や学習援助に関するエンパワーメント育成理論の活用について探究する。

本学生は将来、管理職、看護教員、実習指導者を志向している。

2-2. 実践の現場で健康支援と教育的役割に携わりたい学生が履修する場合

①修士論文テーマ：周術期における患者の心的状況と術後せん妄発症の関連性及びその予防的ケアに関する研究

②履修科目

区分		＜生涯健康看護学分野＞ 授 業 科 目	1 年次～2 年次		
			前期	後期	
共通科目	必修	看護理論	2		4
		看護研究方法論Ⅰ	2		
	選択	家族看護学特論		2	6
		看護倫理	2		
		看護教育論		2	
専門科目	選択必修	成人継続看護学特論		2	4
		成人継続看護学演習		2	
	選択	形態機能・生体機構学特論		2	8
		人的資源活用論特論	2		
		老年看護学特論	2		
		慢性看護学特論B		2	
	必修	生涯健康看護学特別研究	8		8
	計		30		

術後せん妄に関する研究については、経過パターン、関連因子の把握を試みる研究、患者・家族の心的状況の調査研究など、近年数多く発表されるようになってきているが、発展的な研究を展開するにあたっては、先行研究から得られた知見を系統的に整理するとともに、患者・家族のライフスタイル・家庭環境等を分析し、より高いレベルのエビデンスを構築することが求められる。また、入院中の患者の心的状況に関連する様態急変を抑制するために、入院前のリスクファクター評価・予防対策等が必要となる。

これらを包含した研究を継続させるための知識として、「家族看護学特論」「看護教育論」及び「形態機能・生体機構学特論」「人的資源活用論特論」を選択し、実践的な研究へと発展させていくことができる。また、実践の現場で教育的役割を担うことができる。

3. CNSコース 慢性疾患看護学分野

3-1. 慢性疾患看護学分野の専門看護師として地域で活躍したい学生が履修する場合

① 課題研究テーマ：糖尿病患者の薬物コントロールにおける外来支援の在り方

② 履修科目

区分		CNSコース (慢性疾患看護学分野) 授 業 科 目	1 年次		2 年次		計
			前期	後期	前期	後期	
共通科目	必修	看護理論	2				2
		看護研究方法論Ⅰ	2				2
	選択	看護倫理	2				2
		看護管理論		2			2
		看護研究方法論Ⅱ	2				2
専門科目	選択必修	慢性看護学特論A	2				2
		慢性看護学特論B		2			2
		慢性看護支援論A	2				2
		慢性看護支援論B		2			2
		慢性看護支援論C		2			2
		慢性看護支援論演習	2				2
	必修	慢性看護学課題研究	2				2
		慢性看護学実習Ⅰ		2			2
		慢性看護学実習Ⅱ			4		4
	計		30				

専門看護師は、ある特定の看護分野において「卓越した看護実践能力」を有することを認定される看護職者である。慢性疾患看護専門看護師をめざす者は、日本看護系大学協議会の専門看護師教育課程基準に示される慢性看護の科目の履修が必修となる。さらに自己の課題研究の遂行と、より専門的な実践力の習得のために関連科目の履修が必要である。

「慢性看護学特論A・B」、「慢性看護支援論A・B・C」、「慢性看護学実習Ⅰ・Ⅱ」等の専門科目を履修することで、病と共に生きる糖尿病患者を科学的・論理的に捉え高度な看護実践を行うための方法論を学習することができる。また、共通科目の中から「看護倫理」「看護研究方法論Ⅱ」といった科目を選択履修し、「慢性看護学課題研究」につなげていくことで自らの看護実践を研究的に捉え発展させることが可能となる。

本学生は、慢性疾患看護の分野における卓越した看護実践能力と関連職種間の連携調整能力を持ち、地域特性に応じた革新的な活動を担える専門看護師を志向している。